

神戸市自立支援協議会運営協議会（第 38 回）議事要旨

- 1 日 時 令和 8 年 8 月 10 日（月）13 時 30 分 ～ 14 時 30 分
- 2 場 所 三宮研修センター 7 階 705 号室
- 3 出席者 上月清司会長、植戸貴子委員、金田知子委員、曾我部由美委員、名口麻里子委員、
野上真由美委員
- 4 議 題 （１）障害者相談支援センターの実績報告
（２）障害者地域生活支援拠点の実績報告
（３）次期神戸市障がい者プランに対する神戸市地域自立支援協議会意見の提出について
- 5 議事要旨

障害者相談支援センター及び障害者地域生活支援拠点の運用状況の検証及び検討の一環として、実績を報告し、意見をいただいた。

また、次期神戸市障がい者プランに対する神戸市地域自立支援協議会意見の提出案について説明し、意見をいただいた。

【主な委員意見】（→：事務局の補足）

（１）障害者相談支援センターの実績報告

委員意見なし

（２）障害者地域生活支援拠点の実績報告

（「２．見守り支援事業実績」について）

- ・2023 年度の調査に係る訪問対象者が 1,972 件とのことだが、2025 年度の訪問対象者数についても確認したい。

→4,626 件（後日、委員に回答）

- ・約 2,000 件をおよそ 2 年かけて訪問している状況である。一回で出会えるケースは少なく、何度もコミュニケーションをとって生活実態が把握できる状況ではないかと考える。2025 年度の訪問対象者数を考えると、より支援員の負担が大きくなる。区役所や他機関の情報も共有しながら実施していくことで支援員の負担が減らせるのではないかと。

- ・「継続して対応中」の内訳について確認したい。

→大きく、①状況把握を行った結果、支援が必要と判断したため、引き続き訪問等により状況確認が必要な方が 87 件、②訪問したが不在や家族としか会えなかった方や、拒否感が強く状況把

握ができていない方など、未把握の方が 346 件

- ・最初は支援を拒否されていたが、さまざまな関わりを進めることで支援につながった例などを共有できるようになっていけば、そうした対応の活用が広がるのではないかな。
- ・社会資源につながっていると思っていても、実際にはきちんとつながっていないという場合もある。数字上の把握により訪問の無駄をなくす観点も大切だが、「つながっている」とされている方についても、関わり方の質も考慮して、ある程度状況を確認していく視点も必要ではないかな。

(3) 次期神戸市障がい者プランに対する神戸市地域自立支援協議会意見の提出について

- ・毎回繰り返し出てくる課題がある。サービスの量が不足している、例えばショートステイがすぐ利用できない状況であることや、福祉人材が不足している状況であるなど、自立支援協議会で課題を整理し、障がい者プランに記載いただいても、なかなか根本的な解決に至らない課題が多くある。課題となる状況が少しずつ改善されてきている部分も確かにある一方で、例えば触法の方についてなど新たな課題も出てきており、現場も大変な状況ではないかな。
- ・区の自立支援協議会で出来る取組みは進めていただきたいし、市としてやるべきところは、是非とも一つでも二つでも改善に向けた取組みを進めていただきたい。
- ・これは神戸市障がい者プラン策定に向けての意見であるため、各区の自立支援協議会から挙げていただいた課題のうち、プランの項目にあてはまらないような課題は、意見として記載していない場合がある。例えば国制度の根本的な問題であるならば、神戸市として取り組めるものではないということで外れていることもある。ただ、各区の自立支援協議会において、非常に重要な課題であると共通に思われ、挙げてこられている意見ばかりなので、ここに意見として挙げられておらずとも、神戸市としては、できることをやっていただきたいし、国に対しても働きかけを進めていただきたい。
- ・どのような優先順位に基づいて「課題・現状」の「特に重要と考えられるもの」を挙げているのか確認したい。
→これまで何度も課題として挙がっているがなかなか解決に至らない課題や、医療的ケアが必要な方など、切迫性があり状況を放置しておけないという意見が課題整理プロジェクトにおいて強くあった課題などを選別している。
- ・「神戸市障がい者プランの進捗状況＜令和 7 年度 PDCA 評価＞」において、「重度の心身障がいのある人の災害時の個別避難計画の策定数」は D 評価であった。その一方で、今回の意見について、「災害時要援護者支援」では、「特に重要と考えられるもの」の印が無い状況であり、また、各区

自立支援協議会からもそういった災害についての要望がそこまで多くなかったようにも見受けられる。災害は起こってしまうと非常に厄介で大変な課題であるが、どう考えるか。

- ・今回の地震を受け、神戸で震度 7 が起きてから 30 年経ち、まだ大丈夫だなどとは言えない状況だと身に染みた。災害に対する対応は間違いなく重要課題である。一方、個別避難計画を策定することは非常に大事なことに違いないが、どのように機能させるか、どのように支援が必要な方を実際に地域で支援していくのかも重要な視点である。自立支援協議会からの意見としては資料に記載の状況ではあるが、災害時の要援護者支援については、別途「神戸市における災害時要援護者支援に関するあり方検討会」で議論されており、検討を進めていく予定である。
- ・各区自立支援協議会から課題を挙げている状況であり、施策やプランに反映されることで市の対応や考え方が分かるものもあるが、そうでないものもある。各区の自立支援協議会に対し、挙げた課題についてある程度のフィードバックをするように取り組んでいただきたい。
- ・挙げられている「意見・提案」の中には、さまざまな部署や関係機関が連携しなければ解決しないものもある。それぞれ、どういった部署や関係機関で連携して解決につなげてもらいたいのか、についても記載してはどうか。

→自立支援協議会から神戸市に対しての「意見・提案」のため、記載としては配付資料の内容になると思うが、この意見提案を踏まえて、どういった部署や関係機関が関わってくるかなども確認していきたい。